

# 「秋名小学校の島唄・三線・太鼓（チヂン）演奏 伝承活動の取組」

1 学校名 龍郷町立秋名小学校

2 学年・人数 全学年（計21人）

## 3 日時・場所

- (1) 練習の日時（場所）： 毎週水曜日（16時30分～）日曜日（10時～）  
本校体育館・音楽室
- (2) 発表の日時（場所）： 令和2年2月9日（日）本校体育館

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

- (1) 名称：奄美島唄・三線・太鼓（チヂン）の演奏
- (2) 由来

島唄は、日本本島の民謡では「逃げ」として避けられる裏声による発声を多用し、胴に蛇皮を貼った三線と呼ばれる楽器で演奏される。島唄のシマとは、奄美において「集落」や「生まれ育った故郷」を意味する。島民たちにとって、島唄とは日々の暮らしにとってなくてはならないものである。

### (3) 構成等

島唄の原点である八月踊りに欠かせない「踊り」「島唄」「三線」「太鼓（チヂン）」。島唄・三線・太鼓（チヂン）に焦点をあて、代表的な島唄「行きゅんにゃ伽那」を演奏する。

## 5 保存会や地域との連携の具体

学習発表会で発表の場を設定し、スポーツ・カルチャー秋名っ子クラブで練習を行っている。島唄・三線の指導にあたっては、奄美大島在住の唄者中村瑞希氏に指導をいただき、太鼓(チヂン)は保護者を指導者として招聘している。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が協働して島唄・三線・太鼓（チヂン）を伝承していくために、学校（担当）と唄者・地域・保護者の連絡を密に行っている。また、学校で発表（学習発表会）するだけでなく、地域で行われる様々な行事にも、積極的に参加させるようにしていきたい。

## 7 取組の様子（練習状況）



【島唄・三線の練習】



【太鼓（チヂン）の練習】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

太鼓はリズムをとるのが難しいです。たたいているととても気持ちいいので早く上手になりたいです。島唄が、上手に歌えて、三線が弾けるようにたくさん練習したいです。（児童）

奄美の伝統芸能である島唄や三線，太鼓（チヂン）の練習を子供たちにしていただけるのはとてもありがたいことだと思います。奄美の伝統文化に触れることのできる子供たちはとても幸せだと思います。（保護者）

継続した練習をお願いしたいです。そして子供たちが地域行事の中で演奏してくれる日を楽しみにしています。（地域の方）

「学校で学び 家庭で育ち 地域で伸びる 秋名っ子」 地域の皆さまあつての活動だと感謝しています。（職員）